

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年		
350026	X-21-B-3-350026	1	海外研修	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	4年		
授業科目				担当教員		【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	4年
海外実習 A				小林 伊織		【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	4年
						【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
						【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
						【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
						【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
授業目的									
海外の大学において開催される語学セミナーへの参加、あるいは海外の企業でのインターンシップ、または国際 NGO やボランティアへの参加等によって、普段机上では体験できない勉学の機会とし、国際社会に必要な知識や、高度な語学運用能力を身に付ける。第1回目の2016年度は13名の学生が、台湾、フィリピン、カンボジア、ニュージーランド、カナダ、アメリカ、ロシアに渡航し、語学セミナーやボランティアなどに参加した。									
各回の授業内容									
夏期休暇期間中に海外の大学で開催される語学セミナーへの参加、あるいは海外でのボランティア・企業や NGO での研修といった活動を行った場合に単位を認定する。活動期間は1週間程度からそれ以上が望ましい。希望学生はゼミ教員に現地活動計画書を提出し指導を受ける。帰国後、現地実習成果をレポートにして提出、学生公開の場で報告する。事前の計画書と帰国後のレポートおよび成果報告会をベースに担当ゼミ教員が成績評価、学部長が単位認定を行う。計画書（事前）およびレポート作成（事後）時間として、合計15時間を要する。									
成績評価方法									
教科書・参考書									
吹浦 忠正『NGO・海外ボランティア入門—難民を助ける会 20年の軌跡から』自由国民社、1999年。 地球の歩き方編『1週間からできる海外ボランティアの旅—はじめてでもできる!本当の自分が見つかる感動体験』2008年。									
受講に当たっての留意事項									
本実習では、選定された実習地が適当かどうかを、ゼミ教員が中心となって検討し、適当と判断された場合に派遣される。場所によっては毎日の連絡が必要な場合もある。授業の一環であることを念頭に入れて実習先を選ぶこと。詳細は所属するゼミ教員に質問すること。									
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施		
×							○		
学習到達目標									
海外での活動を通じ大学での机上では体験できない勉学、体験を通じて国際理解の一助とする。									
JABEE									

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習